

研修会等参加報告書

令和元年5月20日

天童市議会議長様

会派名 てんどう創生の会

代表者氏名 渡辺 博司



下記により、会派において研修会等に参加してきましたので報告します。

記

研修会等名	2019年度 日本自治創造学会 研究大会 「新時代到来! ~地方はどう生き残るか~」
主催団体名	一般社団法人 日本自治創造学会
日時	令和元年5月9日(木) 13:00 ~ 10日(金) 15:25
会場・場所	明治大学アカデミーコモン 東京都千代田区神田駿河台1-1
全体参加者数	約460人
内容等	<p>◎講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「真の地方創生と地方自治」 片山善博氏(早稲田大学公共経営大学院教授・元総務大臣) ○「ゆでガエルにならないために」 齋藤 健氏(前農林水産大臣・衆議院議員) ○「SDGsと地域循環共生圏」 中井徳太郎氏(環境省総合環境政策統括官) ○「日本の課題と可能性」 村上由美子氏(OECD東京センター所長) ○「スポーツが持つ力と地域活性化」 藤江陽子氏(スポーツ庁審議官) ○「日本が売られる~自治体は最後の砦~」 堤 未果氏(国際ジャーナリスト)

	<p>◎事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「地方ビジネスを成功させる知恵と実践」 竹井智宏氏（株式会社MAKOTO代表取締役） ○「外国人対策」 谷畑英吾氏（湖南市長） ○「地方はチャンス～1粒1000円のライチの奇跡～」 齋藤潤一氏（財団法人こゆ地域づくり推進機構代表理事） <p>◎パネルディスカッション「新時代到来！～地方はどう生き残るか～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○問題提起 金井利之氏（東京大学大学院法学政治学研究科教授） ○パネリスト 牛山久仁彦氏（明治大学政治経済学部教授） 土井丈朗氏（慶應義塾大学経済学部教授） 山下祐介氏（首都大学東京人文科学研究科教授） ○コーディネーター 穂坂邦夫氏（NPO法人地方自立政策研究所理事長） 	
<p>市政の課題への参考等</p>	<p>地方創生、起業支援、外国人対策、農業振興、議会改革、環境問題、イノベーション、スポーツ振興、水道事業の非公営化問題、社会保障、人口減少といった現在問題となっている様々な事柄についてそれぞれの先生方のお考えをお聴きすることができた。</p> <p>今後の議員活動に活かして行きたい。</p>	
<p>参加者の感想等</p>	<p>参加議員氏名</p> <p>三宅 和広</p>	<p>感想等</p> <p>幅広い分野について著名な方のお話をお聴きすることができ、たいへん良かった。</p> <p>特に印象に残ったことは、次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・片山善博氏 「地域のことは地域の人しか考えられない。国から出された施策をそのままやる時代ではなくなった。議会が中心となり、住民を巻き込んで考えていかなければならない。」 ・齋藤潤一氏 「1粒1000円のライチは希少価値だから売れる。また、現地を見学していただくという「体験」を売ることができる。」

		<ul style="list-style-type: none">・ 齋藤健氏 「日本の農業には可能性がある。日本の人口は減っても世界の人口は増えている。海外では日本食ブームでもあり、これを活かしたい。また、生産現場だけで稼ぐのではなく、加工・流通でも稼がなければならない。」・ 村上由美子氏 「高齢化は世界中で進行中である。他国に先駆けて高齢化が進行している日本にとってはチャンスであるとも言える。」・ 山下祐介氏 「人口減少問題は一人ひとりが考えなければ解決できない問題であり、行政が直接解決できる問題ではない。行政が実施することはできるのは間接的な施策である。この場合、小さい自治体の方がやりやすいのかもしれない。」
--	--	--